

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

12月

令和7年第51週 (12月15日～12月21日)

インフルエンザ報告数は減少しました

今週の竹田地域の調査医療機関からの報告数は74人と、先週の90人から減少しました。ほとんどA型ですが、わずかにB型がみられました。豊肥管内では定点あたり12.00人と横ばいで、引き続き流行発生注意報レベルにあります。大分県全体では定点あたり56.28人から51.84人へ減少しましたが、流行発生警報レベルが続いています。

新型コロナウイルス感染症が増加しました

今週の竹田地域の調査医療機関からの報告数は37人と、先週の16人から増加しました。

伝染性紅斑の報告が続いています

今週の報告数は4名となり、17週連続で報告が続いています。両頬に赤い発しんが出現する時期は感染性がほとんどありませんが、その7～10日前にみられる微熱などのかぜ様症状の時期は、ウイルスの排出量が多く感染性が強いとされています。日頃から手洗いなどの感染対策をしっかりと行うことが重要です。

年末年始も感染症対策に気をつけましょう

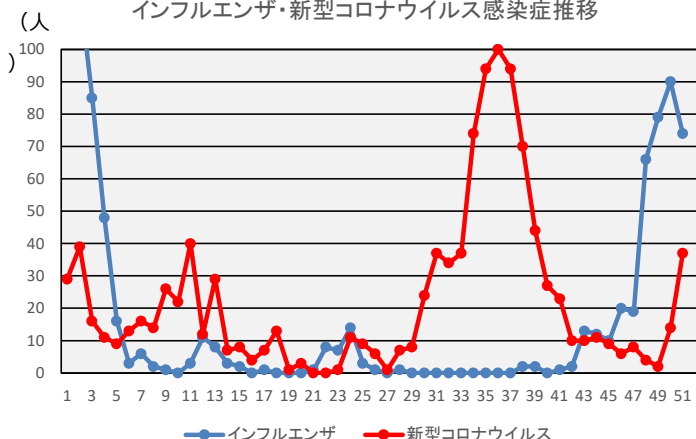
年末年始は帰省や旅行、会食などにより人の移動や接触が増え、感染症が拡大しやすい時期です。手洗い、手指消毒、換気など基本の感染対策を行い、咳が出る場合は「咳エチケット」に気をつけましょう。体調不良時は無理な外出をせず、自宅で安静に過ごしましょう。安心して年末年始を過ごすために、家族や周囲の大切な人を守る行動にご協力ください。

(第51週)

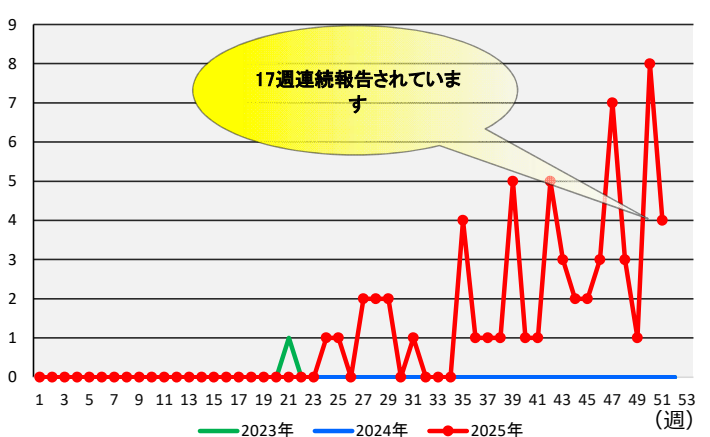
(調査医療機関8か所の総患者数)

| 疾患名 年齢 | インフルエンザ | | | 新型コロナウイルス感染症 | RSウイルス感染症 | 咽頭結膜熱(プール熱) | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 感染性胃腸炎 | 水痘(みずぼうそう) | 手足口病 | 伝染性紅斑(リンゴ病) | 突発性発疹 | ヘルパンギーナ | 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) | マイコプラズマ肺炎 | 麻しん(全数報告) | 風しん(全数報告) | 百日咳(全数報告) | つつが虫病(全数報告) |
|-----------|---------|----|----|--------------|-----------|-------------|---------------|--------|------------|------|-------------|-------|---------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| | A型 | B型 | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 0歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1～3歳 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4～6歳 | 5 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | |
| 7～9歳 | 4 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | |
| 10～14歳 | 8 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15～19歳 | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20歳以上 | 43 | | | 37 | | | | 5 | | | | | | | | | | | 1 |
| 今週 | 72 | 2 | | 37 | | | | 5 | | | 4 | | | | | | | | 1 |
| | 74 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70歳以上(再掲) | | | | 16 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 先週 | 90 | | | 14 | | | | 11 | | | 8 | | | | | | | | |

2025年竹田地域
インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症推移



(人) 伝染性紅斑竹田市8医療機関総数



でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状
この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように
赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

手洗い、マスク着用など

基本的な感染症対策を心がけましょう！


伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。こどもを感染から守るため、周囲の人も基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性がある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

 **厚生労働省**

感染症対策課 2025年5月作成



冬の感染対策

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

医療機関や高齢者施設などでは、重症化リスクの高い方への感染予防のためマスクの着用を求められることがあります。

正しい手の洗い方



① 流水で汚れを洗い流し、手のひらで石けんを泡立てます。



② 手の甲を伸ばすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗います。



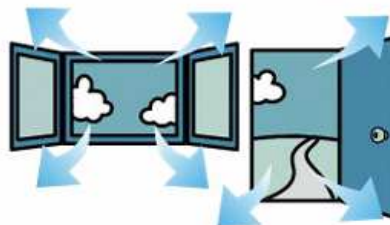
⑦ 石けんを流水で洗い流します。

3つの咳エチケット



口と鼻をしっかりと覆いましょう！

こまめな換気



寒いと、つい窓を開めっぱなしにしがちですが、ときどき窓や扉を開けて空気を入れ替えましょう。



厚生労働省

健康・生活衛生局
感染症対策部 感染症対策課